

2022年3月期（FY2021） 第1四半期 決算説明会

2021年8月5日

株式会社 島津製作所

取締役 専務執行役員

山本 靖則

目次

- ① **FY2021 1Q決算 概要**
- ② FY2021 1Q決算 セグメント別業績
- ③ FY2021 予想

業績サマリー



増収増益

売上・利益ともに過去最高を更新

- ・第1四半期の売上高・営業利益・経常利益・純利益は過去最高。利益率も過去最高を更新
- ・計測、医用、産業は増収増益で、売上、営業利益とも過去最高を更新
- ・航空は民間航空機分野が停滞。防衛分野も前年の大口案件の反動で減少

国内外で増収 海外全地域で二桁%増

- ・国内では、PCR関連事業の拡大等により、前年の航空の大口案件の反動を補い増収
- ・海外は、計測の重点機種（LC、MS、GC）が牽引し、全地域で二桁%増
- ・海外売上高比率は、前年同期比3ポイント増の57%

計測重点機種は堅調に推移 産業TMPも増加を継続

- ・計測の重点機種（LC・MS・GC）は前年比24%増の343億円、3機種とも増収増益
- ・産業のTMPは5G対応機器・データセンター向け半導体需要が拡大（前年比16%増の63億円）

感染症プロジェクト Phase II の推進

- ・新型コロナウイルス検出試薬キットは国内・北米等で、全自動PCR検査装置は国内で増加
- ・4月以降、国内の企業・高齢者施設・教育機関などでPCR検査センターの開設を支援

損益計算書

- 売上高 : 943億円 (前年比 : +141億円、+18%)
- 営業利益 : 124億円 (前年比 : +63億円、+104%)
- 営業利益率 : 13.2% (前年比 : +5.6pt)

売上高・営業利益・営業利益率の全てで、
第一四半期過去最高を更新

単位：億円		1Q：4-6月		前年比	
		FY2021	FY2020	増減額	増減率
業績	売上高	943	802	+141	+18%
	営業利益	124	61	+63	+104%
	営業利益率	13.2%	7.6%	+5.6pt	—
	経常利益	127	62	+65	+106%
	親会社株主に帰属する当期純利益	87	42	+46	+110%
為替	平均為替レート：米ドル（円）	109.53	107.67	+1.86	+2%
	ユーロ（円）	132.00	118.50	+13.50	+10%
主要投資	研究開発費	36	34	+2	
	設備投資額	21	26	▲5	
	減価償却費	40	38	+2	

為替影響額

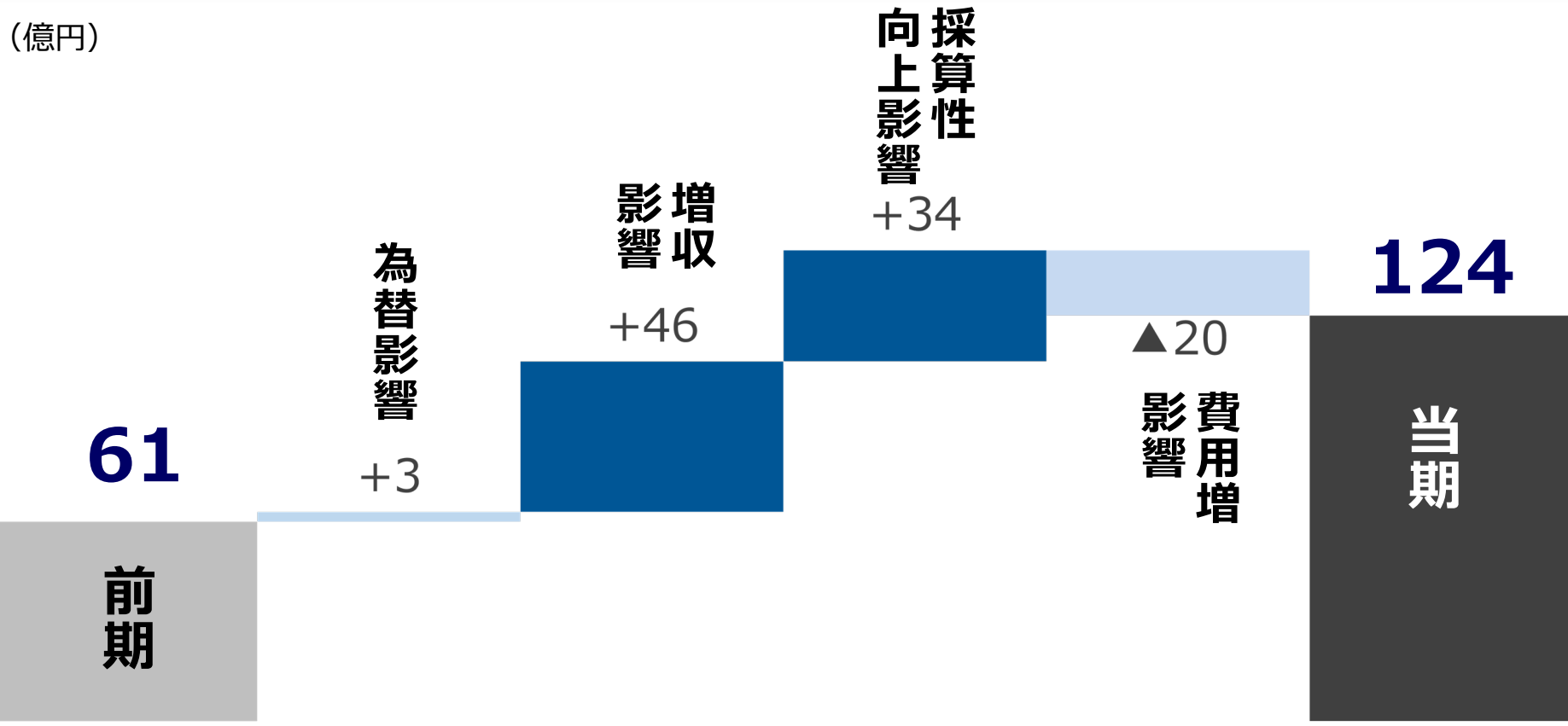
売上高 : +21億円
営業利益 : +3億円

為替感応度

	売上高	営業利益
USD	12億円	4億円
EUR	2億円	0.7億円

営業利益増減要因

- ・ 為替影響 : + 3億円 (前年比、米ドルは2%円安、ユーロは10%円安)
- ・ 増収影響 : +46億円
- ・ 採算性向上 : +34億円 (利益率の高い製品の増加、セグメントミックスの改善等)
- ・ 費用増 : ▲20億円 (人件費・売上関係費等の増加)



セグメント別損益

「計測・医用・産業で、第1四半期の過去最高業績を更新」

計測機器：増収増益 ■ 重点機種が成長、PCR関連事業もコロナ影響で需要継続

医用機器：増収増益 ■ 国内医療機関の設備導入があり増収

産業機器：増収増益 ■ ターボ分子ポンプが好調に推移。油圧機器・ガラスワインダー等も市況回復で増加

航空機器：減収減益 ■ 前年同期の防衛大口案件の反動に加えて、民間航空機向けの減少が継続

単位: 億円	売上高				営業利益				営業利益率		
	FY2021	FY2020	前年比		FY2021	FY2020	前年比		FY2021	FY2020	前年比
			増減額	増減率			増減額	増減率			増減
計測機器	613	477	+137	+29%	110	53	+57	+108%	17.9%	11.1%	+6.8pt
医用機器	145	131	+14	+11%	9	2	+7	+367%	6.1%	1.5%	+4.6pt
産業機器	130	104	+26	+25%	14	8	+6	+79%	10.6%	7.4%	+3.2pt
航空機器	41	82	▲40	▲49%	▲4	1	▲5	—	-8.7%	1.6%	▲10.3pt
その他	14	9	+5	+61%	▲0	2	▲2	—	-1.8%	15.4%	▲17.2pt
調整額	—				▲4	▲5	+1	—	—		
合計	943	802	+141	+18%	124	61	+63	+104%	13.2%	7.6%	+5.6pt

*セグメントごとの業績をより適切に管理するため、当第1四半期から管理部門費をより合理的な配賦方法に変更している。前年比較については、前年の数値を新配賦方法に基づき組替えている。

① FY2021 1Q決算 概要

② **FY2021 1Q決算 セグメント別業績**

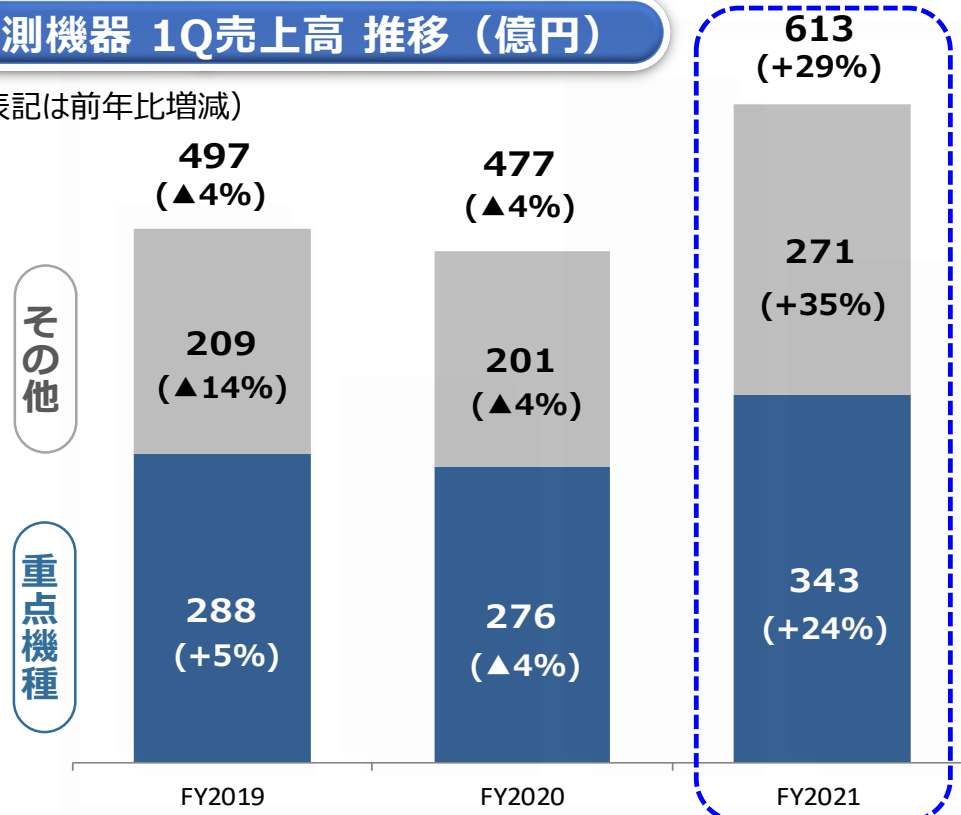
③ FY2021 予想

計測機器/機種別売上高

- ・重点機種 : 343億円(前年比+67億円、+24%)
LCは医薬等、MSは医薬・臨床・大学向け等で好調に推移
- ・その他 : 271億円(前年比+70億円、+35%)
新型コロナウイルス検出試薬キット・全自動PCR検査装置等が増加
- ・アフターマーケット(AM) : 233億円(前年比+63億円、37%) / AM比率 : 38%(前年比 +2pt)

計測機器 1Q売上高 推移 (億円)

(%表記は前年比増減)



計測機器製品

その他	 新型コロナウイルス 変異株 (L452R) 検出試薬キット	 全自動PCR検査装置 AutoAmp	 水質分析計 TOC-1000e	 材料試験機 オートグラフAGX-V
重点機種	 液体クロマトグラフ i-Series	 液体クロマトグラフ Nexeraシリーズ	 液体クロマトグラフ 質量分析計 LCMS-8060NX	 ガスクロマトグラフ GC-2030

計測機器/地域別売上高

「好調な海外が牽引し業績拡大」

- ・日本 : 前年比+26% 新型コロナウイルス検出試薬キット、全自動PCR検査装置が牽引
- ・海外 : 前年比+30% 北米・欧州・中国・その他のアジアの海外主要地域で大幅に増加、医薬分野、食品分野、官公庁・大学等での需要回復
- ・海外売上高比率 : 65% (前年比 +1pt)

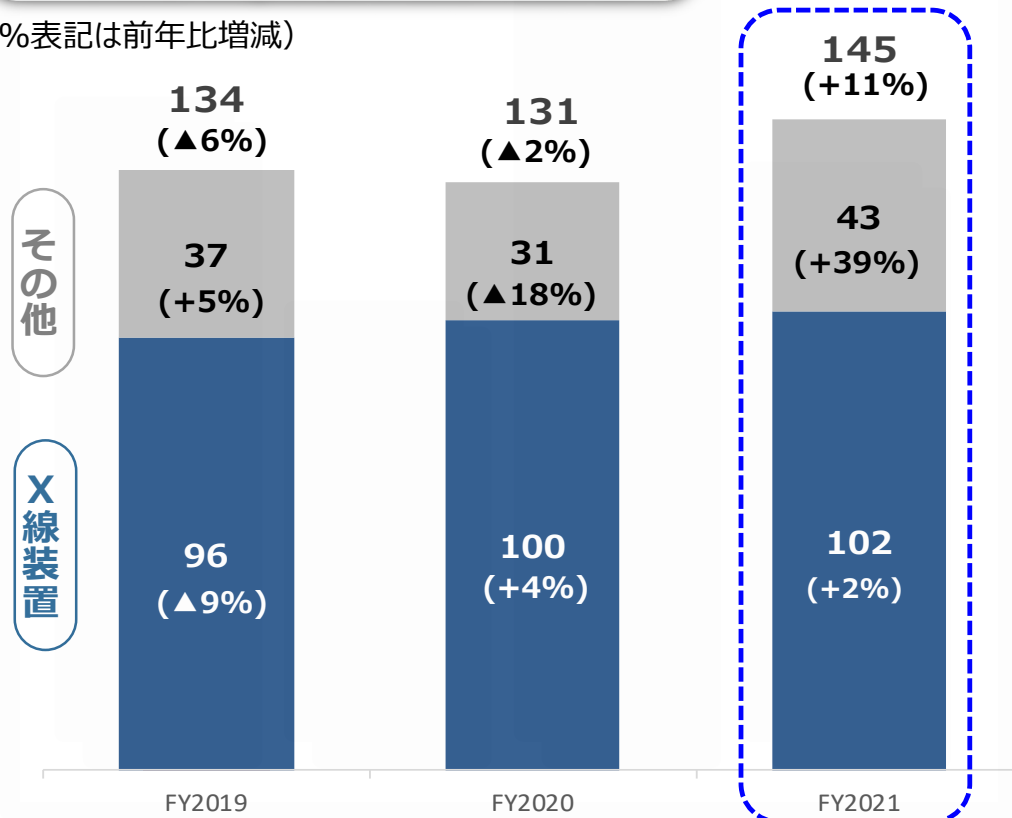
単位: 億円	FY2021	FY2020	増減額	増減率	概況
日本	216	171	+45	+26%	・新型コロナウイルス検出試薬キット、全自動PCR検査装置の増加が継続
海外	397	306	+92	+30%	・北米、欧州、中国、その他のアジアの海外主要地域で大幅に増加
北米	73	54	+19	+35%	・医薬品分野での設備投資の回復、官公庁・大学で予算執行が進む ・LC・MSを中心に増加
欧州	63	49	+14	+28%	・食品、受託分析分野の回復や、大学向けが増加 ・LC・MS・GCを中心に増加
中国	169	137	+33	+24%	・規制が強化された食品安全分野、医薬品検査の受託分析を中心に幅広い分野で増加 ・LC・MSが牽引、GC等も増加
その他のアジア	65	51	+14	+27%	・東南アジアでの官公庁向けや南アジアでの医薬向けにLC・GC等が増加 ・インドでは新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けたものの増収を確保

医用機器/機種別売上高

- ・ X線装置 : 102億円(前年比+2億円、+2%)
国内医療機関の設備導入で前年増加した回診用X線撮影装置の減少を補い増収
- ・ その他 : 43億円(前年比+12億円、+39%) 放射線治療装置用動体追跡システム等が増加
- ・ アフターマーケット(AM) : 55億円(前年比+7億円、+16%) / AM比率 : 38%(前年比 +1pt)

医用機器 1Q売上高 推移 (億円)

(%表記は前年比増減)



医用機器製品

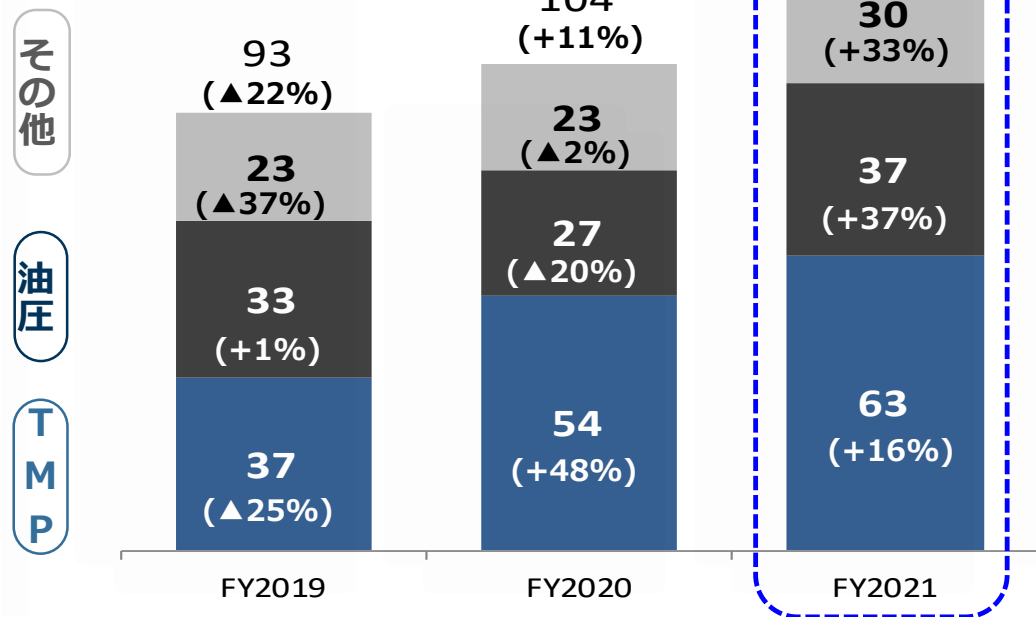
その他	 病院受付システム MERSYS-IV (感染症パッケージ)	 スマホ問診サービス Hospital Essentials	 放射線治療用動体追跡システム SyncTraX	 TOF-PET装置 BresTome
	X線撮影装置	 X線TVシステム SONIALVISION G4	 一般撮影システム RADspeed Pro	 血管撮影システム Trinias unity edition

産業機器 / 機種別売上高

- ・ターボ分子ポンプ (TMP) : 63億円(前年比+9億円、+16%) 半導体製造装置向けを中心に好調に推移
- ・油圧機器 : 37億円(前年比+10億円、+37%) フォークリフト・建機等の市況の回復により日本・北米・中国で増加
- ・その他 : 30億円(前年比+7億円、+33%) 設備投資の回復により、中国・東南アジアでガラスワインダーが増加
- ・TMPアフターマーケット(AM): 11億円(前年比 +2億円、+20%) / AM比率 : 17% (横ばい)

産業機器 1Q売上高 推移 (億円)

(%表記は前年比増減)



産業機器製品

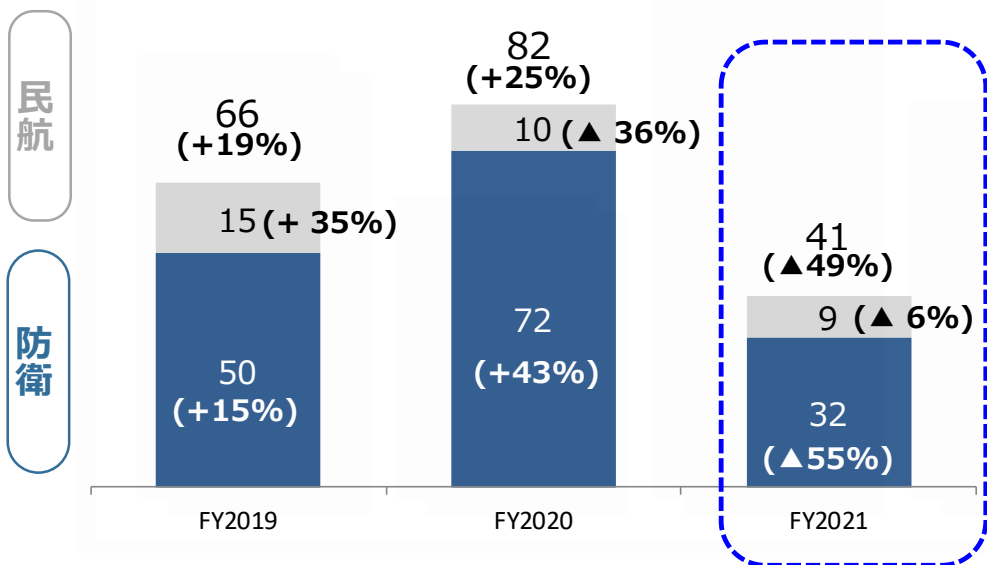
その他	 <p>工業炉</p>	 <p>ガラスワインダー</p>	 <p>バランサー</p>
TMP	 <p>電源一体型</p>	 <p>電源別置き型</p>	<p>油圧機器</p>  <p>ギアポンプ</p>  <p>コントロールバルブ</p>

航空機器/分野別売上高

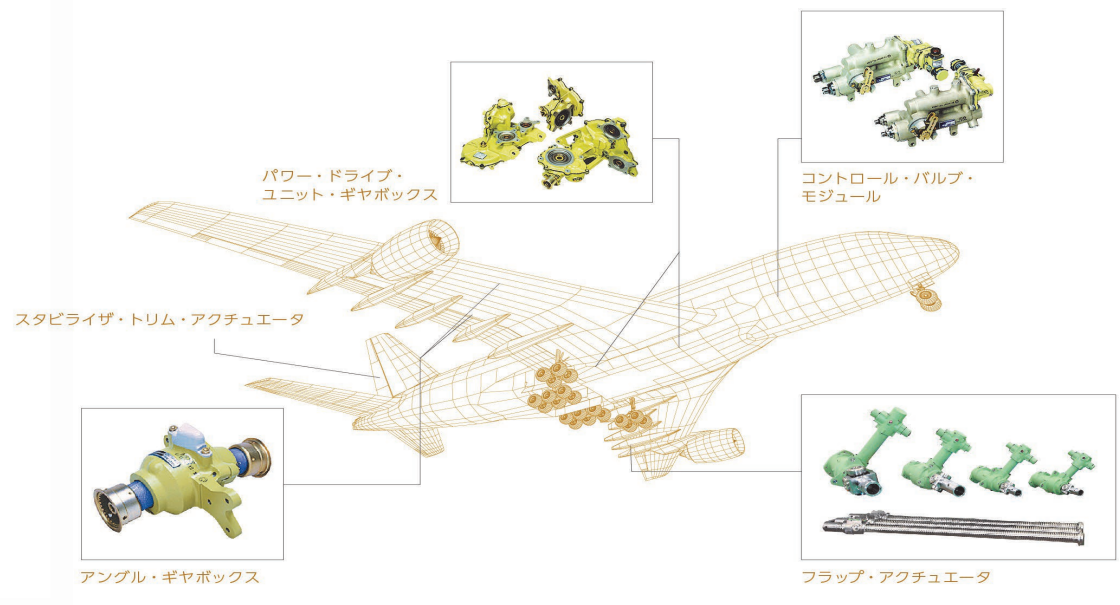
- ・防衛 : 32億円(前年比 ▲40億円、▲55%) 前年の大口案件の反動等で大幅に減少
- ・民航 : 9億円(前年比 ▲1億円、▲6%) 民間航空機の減産により、ボーイング向け搭載機器を中心に減少

航空機器 売上高 推移 (億円)

(%表記は前年比増減)



民間航空機用搭載部品



① FY2021 1Q決算 概要

② FY2021 1Q決算 セグメント別業績

③ **FY2021 予想**

事業環境の見通し

- ・ 新型コロナウイルス変異株感染拡大の影響が不透明
- ・ 計測機器は、ヘルスケア分野や大学ラボを中心に、グローバルに需要が拡大
- ・ 医用機器は、病院のコロナ禍からの回復が遅延。産業機器は半導体製造分野での高水準の設備投資が継続

事業セグメント	分野	見通し		
		プラス要因	マイナス要因	
計測機器	ヘルスケア	◎	<ul style="list-style-type: none"> ■ 変異株の陽性診断及び新型コロナウイルス陰性証明検査需要の増加 ■ 医薬品の自国生産回帰による需要拡大 ■ 食品安全分野での需要拡大 	—
	官庁・大学	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ ラボの稼働率回復、補正予算（日本）による投資増 ■ 迅速検査や重症化予防などウイルス研究用の需要拡大 	■ 新型コロナウイルス変異株による感染拡大
	製造業	▲	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自動車・化学分野で設備投資の回復 ■ ゼロカーボン推進による環境対応需要増加 	■ 新型コロナウイルス変異株による感染拡大（日本での回復遅延等）
医用機器	公立病院	○	<ul style="list-style-type: none"> ■ 補正予算（国内）による需要増 ■ コロナ禍で延期されていた設備導入の再開 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 回診用X線撮影装置の需要は一巡 ■ 新型コロナウイルス感染再拡大による設備導入の遅延・再延期
	民間病院	▲	<ul style="list-style-type: none"> ■ コロナ禍で延期されていた設備導入の再開 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 回診用X線撮影装置の需要は一巡 ■ 新型コロナウイルス感染再拡大による設備導入の遅延・再延期
産業機器	半導体	◎	■ データセンターや5G向け需要の拡大が継続	—
	油圧	○	■ 産業車両・小型建機の需要回復の継続	—
航空機器	民間航空機	×	—	■ 民間航空機の厳しい状況が継続

通期業績予想

- ・ 新型コロナウイルス変異株感染拡大による不透明感が増す中、ヘルスケア、半導体等の活況な市場で事業拡大を推進
- ・ 売上高・営業利益・経常利益・当期純利益すべてで2期連続の過去最高業績更新を目指す
- ・ 好調な第1四半期業績を反映し、通期業績予想を上方修正

単位：億円	通期			前回予想比		前年比		
	FY2021 新予想	FY2021 前回予想	FY2020	増減額	増減率	増減額	増減率	
業績	売上高	4,100	4,000	3,935	+100	+3%	+165	+4%
	営業利益	530	500	497	+30	+6%	+33	+7%
	営業利益率	12.9%	12.5%	12.6%	—	+0.4pt	—	+0.3pt
	経常利益	520	490	484	+30	+6%	+36	+7%
	親会社株主に帰属する当期純利益	390	370	361	+20	+5%	+29	+8%
為替	平均レート：米ドル（円）	106.00	105.00	106.11	+1.00	+1.0%	▲ 0.11	▲0%
	ユーロ（円）	123.00	120.00	123.75	+3.00	+2.5%	▲ 0.75	▲1%
主要投資	研究開発費	185	185	157	0		+28	
	設備投資額	160	160	145	0		+15	
	減価償却費	165	165	155	0		+10	

通期為替影響額予想

売上高 : -3億円
営業利益 : -1億円

セグメント別通期業績予想

- ・計測：**増収増益** ■ 医薬、食品、新型コロナウイルス感染症の陰性証明等のヘルスケア分野、カーボンニュートラル推進による環境・エネルギー市場等、需要増が見込まれる市場への取り組みを推進
- ・医用：**微増減益** ■ 回診用X線撮影装置需要の減少を、X線TV・血管撮影システムの拡販により補うが、研究開発増などにより減益予想
- ・産業：**増収増益** ■ 5G対応機器やデータセンター需要拡大で半導体製造装置向けTMP増加。設備投資増で油圧機器も増加
- ・航空：**減収増益** ■ 民間航空機を中心に厳しい市況が継続するが、固定費削減などで黒字を確保

単位: 億円	売上高							営業利益						営業利益率		
	FY2021 新予想	FY2021 前回予想	FY2020	前回予想比	前年比		FY2021 新予想	FY2021 前回予想	FY2020	前回予想比	前年比		FY2021 新予想	FY2020	前年比 増減	
					増減額	増減率					増減額	増減率				
計測機器	2,640	2,550	2,486	+90	+155	+6%	460	430	418	+30	+42	+10%	17.4%	16.8%	+0.6pt	
医用機器	670	670	669	0	+1	+0%	40	40	50	0	▲ 10	▲ 20%	6.0%	7.5%	▲ 1.5pt	
産業機器	515	505	451	+10	+64	+14%	50	50	34	0	+16	+47%	9.7%	7.4%	+2.3pt	
航空機器	230	230	286	0	▲ 56	▲ 19%	2	2	9	0	▲ 7	▲ 78%	0.9%	3.1%	▲ 2.2pt	
その他	45	45	44	0	+1	+2%	7	7	10	0	▲ 3	▲ 29%	10.4%	16.2%	▲ 5.8pt	
調整額	-							▲ 29	▲ 29	▲ 23	0	▲ 6	-	-		
合計	4,100	4,000	3,935	+100	+165	+4%	530	500	497	+30	+33	+7%	12.9%	12.6%	+0.3pt	

*セグメントごとの業績をより適切に管理するため、当第1四半期から管理部門費をより合理的な配賦方法に変更している。前年比較については、前年の数値を新配賦方法に基づき組替えている。



 **SHIMADZU**
Excellence in Science

本説明資料に記載の将来の業績に関する内容は、経済情勢・為替・テクノロジーなど様々な外部変動要素により、事前見通しと大きく異なる結果となることがあります。

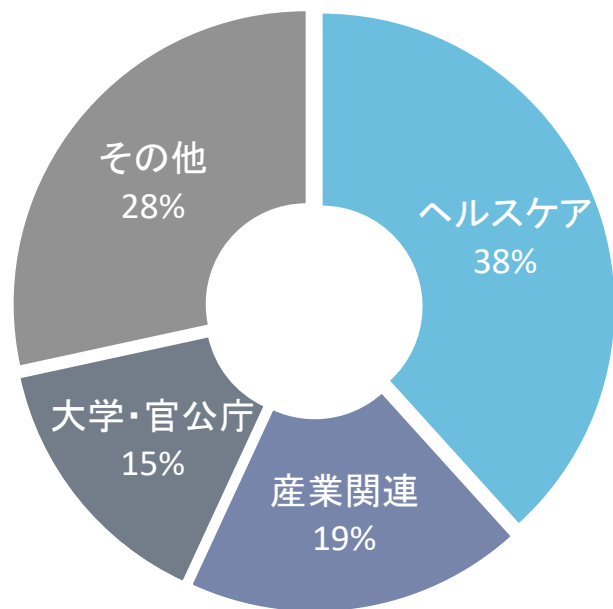
お問い合わせ先：(株)島津製作所
コーポレート・コミュニケーション部 IRグループ
電話：075-823-1673 E-Mail：ir@group.shimadzu.co.jp

補足資料

計測機器／市場別売上高比率

- ・ヘルスケア : 新型コロナウイルス検出試薬キットおよび医薬向けにLC、MSが増加
- ・産業関連 : 設備投資はグローバルで回復基調にあるが、その中で日本の回復は鈍い
- ・大学・官公庁 : 大学や官公庁の予算執行が進む

市場別売上構成比



市場と主な業界	前同比	概況
ヘルスケア ●医薬品・食品 ●医療機関 ●受託分析業	+38%	・新型コロナウイルス検出試薬キット、全自動PCR検査装置が貢献 ・医薬向けにLC・MSが増加
産業関連 ●化学・素材 ●電機 ●自動車	+5%	・設備投資はグローバルで回復基調にあるが、その中で日本の回復は鈍い
大学・官公庁	+15%	・大学は欧米で増加 ・官公庁は延期・凍結されていた予算執行が進む

計測機器/重点機種前同比

	FY2019					FY2020					FY2021
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
重点機種	+5%	+7%	+5%	▲10%	▲1%	▲5%	+2%	+11%	+22%	+8%	+22%
全体	▲4%	+10%	+4%	▲11%	+1%	▲7%	▲4%	+10%	+19%	+5%	+25%

*重点機種：液体クロマトグラフ（L C）、質量分析計（M S）、ガスクロマトグラフ（G C）

* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外

計測機器/地域別売上高前同比

国	FY2019					FY2020					FY2021
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
日本	▲12%	+21%	+0%	▲5%	+1%	▲11%	▲15%	+15%	+11%	+1%	+26%
北米	+4%	▲5%	+16%	+4%	+5%	▲4%	+13%	▲8%	+5%	+1%	+31%
欧州	+1%	+19%	+2%	▲2%	+5%	▲5%	▲5%	+5%	+11%	+2%	+15%
中国	▲8%	▲4%	+4%	▲40%	▲12%	+12%	+14%	+18%	+74%	+25%	+22%
その他アジア	+19%	+11%	+8%	▲10%	+6%	▲25%	▲9%	+5%	+25%	▲2%	+22%
インド	+11%	▲3%	+27%	▲5%	+7%	▲35%	▲4%	+4%	+22%	▲3%	+2%

* インドはその他アジアの内数

* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外

医用機器/地域別売上高

- ・日本 : +24% 延期・凍結されていた設備投資の回復、アフターマーケット事業が拡大
- ・海外 : ▲3% 回診用X線撮影装置が減少
- ・海外売上高比率 : 43% (前同比 ▲6pt)

億円	FY2021	FY2020	増減額	増減率	概況
日本	83	67	+16	+24%	<ul style="list-style-type: none"> ・延期・凍結されていた設備投資が回復 ・アフターマーケット事業が拡大
海外	62	64	▲2	▲3%	<ul style="list-style-type: none"> ・設備投資は回復基調にあるものの、前年増加した回診用X線撮影装置が減少
北米	20	20	+1	+3%	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関の設備投資が回復基調にあり、X線TVシステムなどが増加
欧州	7	8	▲1	▲13%	<ul style="list-style-type: none"> ・回診用X線撮影装置の需要が減少
中国	10	13	▲3	▲25%	<ul style="list-style-type: none"> ・中小規模病院の設備投資が停滞
その他 アジア	12	10	+2	+16%	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジアにおいて回診用X線撮影装置が増加

医用機器/地域別売上高前同比

国	FY2019					FY2020					FY2021
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
日本	+6%	+30%	▲2%	▲5%	+7%	▲15%	▲33%	▲1%	+7%	▲12%	+24%
北米	▲24%	▲17%	+5%	+7%	▲9%	+14%	+29%	+26%	+1%	+16%	+2%
欧州	▲26%	▲6%	+2%	▲8%	▲9%	+19%	+30%	+51%	▲3%	+27%	▲21%
中国	▲33%	+5%	▲26%	+13%	▲8%	+34%	▲33%	+29%	▲25%	▲7%	▲27%
その他アジア	▲8%	+3%	▲16%	+34%	▲0%	▲9%	+17%	▲4%	+20%	+6%	+15%

* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外

産業機器/機種別売上高前同比

	FY2019					FY2020					FY2021
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
TMP	▲25%	▲26%	+10%	+48%	▲1%	+46%	+36%	+7%	+9%	+21%	+13%
油圧	+2%	+1%	▲12%	▲5%	▲4%	▲19%	▲17%	+7%	+6%	▲6%	+34%
その他	▲37%	+19%	▲11%	▲1%	▲8%	▲7%	▲20%	+14%	▲16%	▲8%	+32%

* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外

アフターマーケット(AM)比率

計測

	FY2019					FY2020					FY2021
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
AM売上前同比	+3%	+6%	+10%	▲2%	+4%	+1%	+4%	+22%	+16%	+10%	+33%
AM比率	34%	30%	33%	32%	32%	37%	33%	33%	33%	34%	38%

医用

	FY2019					FY2020					FY2021
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
AM売上前同比	+5%	+13%	▲3%	+2%	+4%	+1%	▲8%	+14%	+5%	+3%	+14%
AM比率	35%	28%	31%	30%	30%	37%	32%	32%	31%	33%	38%

TMP

	FY2019					FY2020					FY2021
	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q	2Q	3Q	4Q	FY	1Q
AM売上前同比	+13%	+9%	▲1%	+12%	+8%	+12%	+3%	+11%	+6%	+8%	+18%
AM比率	22%	27%	18%	18%	21%	17%	21%	19%	18%	19%	17%

* FY2020は為替と収益認識基準の影響を除外して比較
FY2021は為替影響を除外